

職員による自己評価

保護者による評価

A 環境面

- ・活動スペースは確保出来ているが、人数により狭く感じることがある
- ・もっとしかりした静養室があると良い
- ・職員の人員配置に余裕がない
- ・無理に受け入れないで欲しい

B 児童への支援内容

- ・活動プログラムの立案は職員全体では行えていない
- ・児童によっては活動プログラムのバリエーションが少ない
- ・専門的支援の実施が出来ている

C 関係機関との連携

- ・必要に応じて学校との連携は取れている
- ・地域イベントへの参加は積極的
- ・障害のない子ども達と活動することは殆どない

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時に過ごしの様子や LINE による連絡相談等の情報共有を実施
- ・保護者会はない

E 非常対応

- ・マニュアルに準拠しての対応
- ・災害時の避難訓練は定期的に実施している
- ・災害発生後の行動手順をもっと詳しく決めてほしい

A 環境面

- ・フロアがもう少し広いと良い
- ・部屋が暗く感じる
- ・職員入れ替えの案内が不十分
- ・玄関前の段差が気になる

B 児童への支援内容

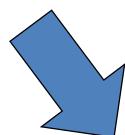
- ・保護者・子供のニーズに合わせて支援を行っている
- ・活動プログラムが固定化されない工夫がされている
- ・畑で収穫した野菜など、普段食べられないものを食べてくれるるのは嬉しい
- ・天気の良い日は公園などへの外出を増やしてほしい
- ・障害のない子ども達との交流があるか分からない

C 事業所からの情報発信

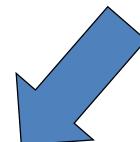
- ・LINE やインスタグラムで連絡をもらっている
- ・インスタ等でもっと子供の画像を増やしてほしい
- ・保護者会は参加できなので不要と思う

D 非常対応

- ・避難訓練は実施しているが、その他必要な訓練についてはよく分からない
- ・家族が感染症に罹患した際の利用を状況により緩和してほしい



事業所内での分析



【共通点】

- ・アンケート結果により、多くの（9割以上）保護者様には、満足頂いている
- ・放課後児童クラブや児童館など、障害のない子ども達と交流や一緒に活動する機会がほとんどない
- ・保護者会がない

【相違点】

- ・環境・支援内容・情報発信など、細かな部分で物足りなさを感じている方が少数いらっしゃり、ご要望も多岐に渡る為、より一層の対話と情報発信を行い、支援の質を落とさず出来ることを整理する必要がある
- ・ご利用者様と職員がともに安心して、過ごせる場所・働ける場所として、更なる環境の改善が必要

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・自然が豊かな立地に面し、周辺環境が良い
- ・農園で収穫される食物等を調理して食す機会が多く食育に繋がる
- ・身辺自立に関する活動が充実している
- ・関連事業所との交流（クリスマス会など）
- ・経験豊富な職員が多い（専門性が高い）
- ・個別創作と集団創作を毎月実施
- ・五領域を網羅する療育プログラム
- ・SNSを活用した情報発信

事業所の改善点

- ・きめ細かなサービスを提供する為の工夫
- ・事業所の活動や取り組みについての周知不足

事業所の改善への取り組み

- ・お子さまの過ごしの様子などLINE、SNSをより一層活用し、今後も継続して積極的な情報発信を実施致します。
- ・保護者様との対話の機会を増やし、疑問な点や不安に感じていること、将来に向けてのご相談ごとも含め、こちらから積極的にお声掛けさせて頂き、現状の把握と課題を整理し、安心して過ごして頂く為の環境を再構築していきたいと思います。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・今回、頂いたアンケートを参考に、より一層きめ細やかな支援を心がけ、職員一同真摯に取り組んで行きます。今後とも当事業所の活動と取り組みにご理解頂き、ご協力賜りたく存じます。

事業所名 キッズわん あおぞら

担当者 間瀬 一馬